

第3章 愛媛の声

3. 愛媛県道路懇談会 — 各界からの集約された声

活力ある自立した愛媛づくりの支援に向けて

愛媛県では、活力ある、自立した愛媛づくりを支援する道づくりに向けて、「本県における道路整備のあり方」を中心テーマに、愛媛県道路懇談会を開催しています。

この懇談会は、学識経験者、行政関係者、観光運輸関係及びマスコミ、環境、国際等の広域的な交流への視点からの意見が期待できる各分野の豊富な見識を有する方から構成されています。

愛媛県道路懇談会では、愛媛の新たな道路整備の基本方針の策定について、各分野の専門的な立場からの幅広いご意見、ご提言をいただいております。

道路懇談会における主要検討テーマと提言

第1回(平成14年9月13日)

テーマ

- (1) 懇談会の公開について
- (2) 道路をとりまく最近の動向について
- (3) 新たな道路整備計画の策定について

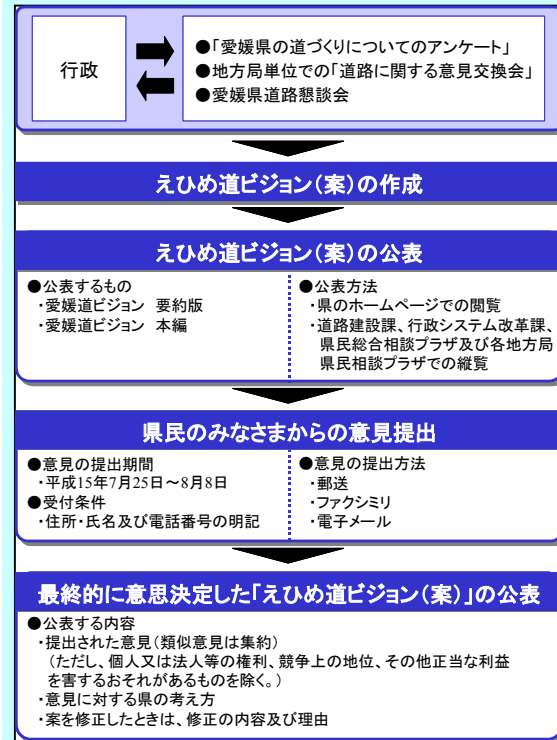
[第1回懇談会の概要]

第1回懇談会では、上記の3つのテーマについて議論がなされました。はじめに、懇談会の公開について、県で定められている「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づいて議論がなされ、次回以降の懇談会を公開で行うことが決定されました。また、新たな道路整備計画の策定に向けては、現在の愛媛県の道路整備状況や財政事情など、道路をとりまく最近の動向を踏まえた上で、今後の道路整備の方向性について委員のみなさまから多数のご意見をいただきました。

[第1回懇談会でいただいた主な意見(一部抜粋)]

- 南予の高速道路(特に宇和島まで)延伸を第一に考えるべき。
- 8の字ルートの整備は、東中南予の県全体における重要な課題
- 道路は必要であるが、それに伴う地方拠点、経済基盤となる政策との連携が必要。
- 事前通行規制区間などにより、救急医療体制などの命に関わることに、都会と地方で差がでている。
- 高齢者、障害者などの交通弱者に対する施策をもっと前面に出すべきでは。
- 高速道路の施策、重点化は大事であるが、地方の生活道路としての整備も必要。
- 遍路道としている道路にさえ歩道が未整備。
- 予算が削減されて重点化が必要。
- 絞り込む基準のようなものを立てるべきではないか。

「愛媛道ビジョン」策定までの流れ



愛媛県 パブリック・コメントのページ
<http://www.pref.ehime.jp/pubcom/public.html>

平成14年度 第1回道路懇談会



第1回道路懇談会の様子

道路懇談会における主要検討テーマと提言

第2回(平成15年3月26日)

テーマ

- (1) 懇談会傍聴要領について
- (2) 「愛媛道ビジョン(素案)」について

【第2回懇談会の概要】

第2回懇談会では、主に「愛媛道ビジョン(素案)」(本冊子の素案)を用いて、道ビジョンの内容(考え方・方向性等)を懇談会委員のみなさまに確認していただきました。そこでは、今回策定する「愛媛道ビジョン」の柱である“重点化”、“効率化”をはじめとした基本方向についての了承を得ることができました。また、内容に関するご質問や感想をいただき、文中の表現等で不適切であると思われる箇所の指摘をいただくなど、広い視点からたくさんのご助言をいただきました。

【第2回懇談会でいただいた主な意見(一部抜粋)】

- “重点化”、“効率化”という考えは変えようがない。
- 道路が足りないのは真実だとは思いますが、現在の厳しい状況をきちんと示す必要があると思います。
- 意見交換会や地域懇談会、アンケートなどで得られた県民の多くの意見は「道ビジョン」に活かすべき。
- 1.5車線の整備により、結果的に早く整備が進み、皆さんの得になるのですよと説明していけばよいのでは。
- 誤解を招かないように、分かりやすく、適切な表現で。

道路懇談会における主要検討テーマと提言

第3回(15年度第1回)(平成15年10月23日)

テーマ

- (1) 愛媛道ビジョン(案)について
- (2) 道路行政をめぐる最近の情勢について

【第3回(H15第1回)懇談会の概要】

第3回(H15年度第1回)懇談会では、主に「愛媛道ビジョン(案)」(本冊子の最終案)を用いて、前回からの修正点及びパブリックコメントによる意見募集の結果を説明し、懇談会委員のみなさまに確認していただき、内容の了承をいただきました。

平成14年度 第2回道路懇談会



第2回道路懇談会での意見交換の様子

平成15年度 第1回道路懇談会



第3回(H15第1回)道路懇談会での意見交換の様子